花咲かだより

題字 森 キヨさん

社会福祉法人 緑寿会

特別養護老人ホーム 山 科 苑 デイサービスセンター 山 科 苑 居宅介護支援センター 山 科 苑

京都市山科区大塚野溝町3番地 TEL (075)593 0800 ryokuju@agate.plala.or.jp http://www3.plala.or.jp/ryokuju/ 緑寿会のホームページからも 花咲かだよりが見られます



皆様、今年も宜しくお願いいたします。

山科苑はこれからも、最良の福祉サービスを提供していきたいと考えております。

拶

吉澤

英樹

がとつございます。 春寒の候、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。 日頃より当法人運営にご支援ご協力を賜り、誠にあり

ぎてしまいました、時が経つのは早いものですね。 つい 先日、 元旦祝賀会を行い、 書き初めをしたかと思うとあ

祭り」の準備をしている頃でしょうか・・・。 っという間に2月です。この新聞が発行される頃には、「節分」が終わり「ひな

ださい。 ます。(「介護相談員」とは、施設を訪問されサービスのご利用者やそのご家族 山科苑では、昨年12月より2名の**介護相談員**の方に施設に来ていただいており してくださる方々です。) 男女一名ずつおられますので、 皆様気軽にお話してく 職員に直接言いにくいことなどがあれば、 私どもとの間に立って「 橋渡し」を からお話を聞き、ご利用者やご家族が感じておられる日頃の疑問や困りごと、

な向上を図っていきたいと考えております。

また、今月18日に「第三者評価」を受診致します。(「第三者評価」とは、

当施設といたしましても、 常設しているご意見箱に限らず、 皆様からのご意見

J要望等を間接的に聞く事により改善の途を探ることで、介護サービスの質的

2010年という新しい年を迎え早くもひと月が過

デイサービスと特養1階食堂の移転計画について



なお、受診した結果については当法人のホームページにてご覧ください

ビスの質の向上に向けての取り組みを図ることができます。

果を受けて施設の現状を振り返る良い機会となりますし、課題が明確になり、 評価機関が当苑に来られ、良い点・改善点などの評価をしていただきます。 その結 とともに、サービスの質の向上・改善に寄与することを主な目的としています。) のサービス事業者の組織運営及びサービス提供内容について、 その透明性を高める

> 現在、山科苑の2階スペースは、生活の場としての"特養"と通いの場としての"デ イサービス"が共用しながらそれぞれのサービスを展開しています。 当デイサービス センターが山科区で初めて開設しました平成5年当時は在宅福祉も乏しい時勢で、設 計途中ではありましたが市の要請もあって、このような設計でも認可されたのだろう と推測します。在宅生活が困難になってきた場合、居宅介護支援センターによる生活 相談から始まり、デイサービスやショートステイ利用により在宅生活支援を行ってい

ます。それでも在宅生活継続が困難となった時にも同一のフロアにある特養へ入所できるという、その意味では デイサービスと特養がご利用者にとっても職員にとっても切ることのできない連続的な福祉サービスを総合的に 展開でき、全国でも珍しい山科苑独自の空間活用でもあります。

反面、同一フロアであることで多くの制約や矛盾を抱えてきました。特養ご利用者にとって、生活の場として 捉えると落ち着いた生活環境の提供が求められ、デイサービスセンターはご利用者同士の交流の場であり憩いの 空間を提供することが求められます。その中で、限られたトイレの共有や"音"や"居場所"、"プライバシーの 保護"など多くの制約を強いられているのも事実です。

このような状況を踏まえ、本年度の事業目標である 「生活の場としての住環境改善」の一貫として、デイサ ービスセンターと1階食堂との移転を計画しています。特養2階ご利用者の生活環境の改善とデイサービスご利 用者にとっても快適な憩いの場が提供できるように、1階食堂スペースの増改築、トイレの増設、床暖房設備工 事など、工事方法や時期がご利用者への迷惑が最小限になるように検討しています。具体的な内容が決まるまで にはもう少し行政や建築事務所との協議が必要ですが、本計画の実施に当たりまして皆様にお知らせするととも に、趣旨をご理解いただき、ご協力の程お願い申し上げる次第です。

D S デイサービスセンター

筋力、バランス、持久力に大きく分けて、さらいていただこうと、内容を一新しています。は万歩計を付けて歩行していただくだけでしは万歩計を付けて歩行していただくだけでした。現在は、ご利用者一人一人に適した運動をた。現在は、ご利用者一人一人に適した運動をの「**歩行クラブ」**についてご紹介します。

し、メニューを作成して実施しています。に、個別にどの様な運動が適しているかを検討**筋力、バランス、持久力**に大きく分けて、さら

三、続けるぞっ二、怠けない一、無理しない場理しないのである。





「歩行練習される方集まってくださ~い」の呼び掛けに毎回多くの方が集まってこられます。「あんな風に歩けたらいいのに・・・」、「自分でトイレに行けなくなったら・・・」、「足が痛くて夜眠れない・・・」、「コケルのが怖くて座ってばかり・・・」など、希望や不安を持った方々が、それに立ち向かうがごとく、明るく笑顔で集まって来られます。運動中、何度か声をかけます「疲れたでしょう?少し休憩しましょうか?」でも返ってくる返事は「いいえ。大丈夫」・・・そんな分けないんです。でっ、休憩をとってもらったとたん、「ふっ~」「はぁ~」と声が漏れます。・・・やっぱり・・・です。"元気に歩きたい"というご利用者の熱い思いに何とか答えたいと、私たちも勉強し工夫し応援させていただきます。

105歳で

親子での参加です

餅をついて無事

者が最後の仕上03歳のご利用



参拝する前に

日々の暮らしの中

り方など教わるこ

その知恵やや

儀礼、

風習など









玉、ご縁がありまよ」お賽銭は5円 員は「そうなんだ は・・」付き添い職 ー」と目を輝かせ すように」「手水 だしんとあかん 「二礼」拍手 神事や通過



ンバーが集まりまを越えてクラブメ す。 た。フロアの垣根

出来上がりは、

しようか楽しみで は何をリクエスト でした「おいしかいうことなく満点 たい? 方へ、 った?次は何食べ クラブの



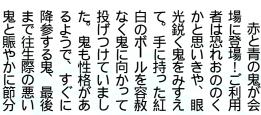
しいたこ焼きになあり、とてもおい りました。あっと いう間に売り切れ





エストナンバーワご利用者のリク

ンのたこ焼き。ご









立春号

独楽は紐巻きが命と り?「正月ぐらいた。遊んでばか はまあい

で盛り上がりまし

き

П

分

の紹介で始まりまり分祭では年女

した。

エクト=

料理クラ

生きがいプロジ

つくりを行いまし

喫茶をご利用者と

環として手作

^京 フロアケアの 3階喫茶の風

を今年度の目標に

緒に楽しむこと

しています。

今回はぜんざい

後からは正月遊び



の

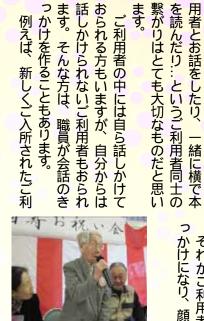
風

書き初めで百寿

)を述べました。 午ようと互いに抱負 平成二十二年元 年をよいものにし 会を開催。今年一 一同が集まり祝賀 ご利用者、

午

話しかけられないご利用おられる方もいますが、 かけを作ることもあります。 しかけられないご利用者もおられられる方もいますが、自分からは し利用者の中には自ら話しかけて そんな方は、 新しくご入所されたご利 職員が会話のき



これからの抱負を語る



ご家族と一緒に祝う



お祝い会で書道を披露



御歳

で

は大根おろし

103歳で

御歳



固い握手をかわす二人

します。

その方の意外なところに気付いた間に思わぬ共通点が見つかったり、 が肩を揉んでおられるのをみて、 間に思わぬ共通点が見つかっ また、肩たたきが得意なご利用者 お互いに自己紹介をされている

利用者もおられます。 かけになり、顔見知りの人、仲のそれがご利用者同士の会話のき 私も揉んでほしい」と言われるご

共に生活をしている他のご利

日々の生活を送られていくなご利用者が山科苑で

饗庭

恵

紹介したり、話のきっかけを作った時に話の合いそうな他ご利用者を おられると思います。ご入所された っている人はおらず、不安を感じて用者は、全く知らない場所で誰も知 も他人を気遣うという、絆へと変わっ あったり心配したりと自分の事より 艮い人へと関係が深まっていきます。 ご利用者同士でお互いを気づかい

るのをみて、ご利用者同士も固い絆でいたご利用者同士が握手をされていいました。そして長年一緒に暮らしてした。ご家族との絆はすばらしいと思 とをうれ 結ばれているのだと思い感動 お祝い会を開きました。ご家族も参加 されてとてもあたたかな会となりま た。そんな繋がりの橋渡しができるこ 先日、ご利用者が百歳を迎えられ、 いくようです。 いました。

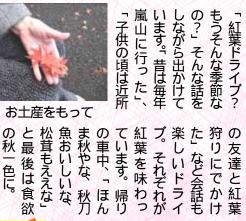
ナータイム。今度は職員の クリスマス出し物。3階は イリュージョンショー。2 階は絵本の朗読会。そし 一緒だとおいしい て、ワイン?で乾杯!聖夜 のクリスマスメニューを ご家族とご利用者、職員、 サンタが一緒になって楽 しみました。 メリークリスマス

クリスマス2部はディ

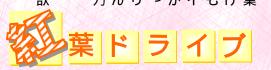








山科毘沙門堂にて





供も参加しての ように。ご家族

餅つきワキアイ

つきたて

ように。ご家族年越しができる

カラオケ大会の様子



白を見たりしていまを振り返りながら紅 夜の鐘を聞いてから 除 ぎていきました。 を楽しむご利用者と プメンで年越しそば 寝るご利用者やカッ で年越しにふさわ やご家族がカラオケ 今年はご利用者



あちら、

こちらで

お奉行様が・・

てクイズなどで盛

り上がりました。



ちゃ 焼きもい りました。 やしね。 このフレ ら衣装も新たにち ーズで今年の冬も んこ屋スタ 気がつけば、 んこ鍋に決ま いけど冬 今回か

にしましょ?鉄板今度の居酒屋な

奏楽部の演奏会とスは音羽中学校吹 奏は心から暖かく 交流会をご家族と ともに楽しみまし 今年もクリスマ 演奏会の生演



ながら、 ではケー

キを食べ

ケーキタイムをみんなで

飾りつけも楽しい



<mark>科苑で</mark>は管理栄養士がご<mark>利用者の身体状況を把握し<mark>て献立を考えていま</mark></mark> ご利用者の誕生日に大好きなメニューが出せるようにご利用者へ希 望を聞き取った<mark>り、暮らしの</mark>中で食事を<mark>とることに困らないように</mark>細か <mark>な食事形態</mark>を考えたりしてご利用者の暮らしを支えています。また<mark>、ご利用者の希</mark> <mark>望にもで</mark>きるだけ対応しています。例えば「昼はうどんが食べ<mark>たい」「今日は粥がい</mark> <mark>レト」「肉</mark>はハト゚から魚にして」など直前に希望が出る場合も多に゚゚ですが少しでも今日 <mark>の食事はよかったという</mark>お声を聞けるように対応しています。

山科苑の調理は富士産業株という委託業者へ調理依頼をしています。厨房調理員 に<mark>も栄養士が配置されています。</mark>今回は直接厨房調理を行ううえ<mark>での苦労話し</mark>や調 理への思いをインタビューしました。介護も調理も相手のことを思い日々技術を向 上<mark>させる点におい</mark>ては通<mark>じるものがあ</mark>ると思います。



大切にしていることは? 4年目になります。 くも山科苑にきて、 この春で

私が最初来た時に、

まず困っ

てきて、一人一人の調理に時間がかか 3年前に比べて個人対応が複雑になっ 不安になったこともありました。また

身体状況によっては食事時間もか



個別のメニューを覚え るのが大変と話す

富士産業㈱

厨房栄養十

切り方も「大きくて食べにくいし、 知識がなく「 硬くて食べられない」と を確かめたりして、今では「野菜は前歯 ありました。 何度も野菜などのゆで加減 いう意見がありました。 歯がない状態で ます。また、当初、お年寄りの食事 様には大変ご迷惑をかけたことと思い で慣れない内は誤配があったり、イベン で噛める軟らかさに」「団子や根菜類は い」と誤嚥の危険性を指摘されたことも 食べておられる方もいると聞き、材料の ト時は盛付けに手間取ったりと、利用者 上顎で潰せる具合に」 と意識して調理し たことは食事形態がそれぞれ違うこと 個々の嗜好に細かく対応しているの 終わらせなければならないという大変 さもあります。 ありますが、限られた時間内で作業を かるため、下膳時間が遅くなる場合が

を見て「ご馳走やなぁ!」と感動して それは食事を配膳し、お盆の上の料理 ていただくと大変嬉しく有難いです。 せて声を掛けて頂いたりすることで 美味しい食事をありがとつ。」と顔を見 で頂き「ごちそう様でした。」「いつも 頂いたり、下膳時に厨房まで足を運ん 美味しい」という言葉は料理を作る しかし、 こうして仕事を続けられる やはり直接に感謝の気持ちを伝え が待っているからです。

たり、特に朝は職員が一人で食事提供 は食事時間に遅れないように走り回っ が複雑化する (慣れない) イベント時 うえむら 村 亜由さん





を怠らないようにしています。メニュー な事故にもつながるので常々チェック

っていきますので、

今後とも宜しくお

ただけるように、心を込めて食事を作 ています。 これからも笑顔で喜んでい

最高の調味料だと私は思っ

の楽しみですが、裏に回ればしっかりと

お年寄りにとって食べることは一番

^{艮事形態を理解していないと大変危険}





昨年末に特養利用者さんを対象に山科苑のお食 事についてお話をお伺いしました。その内容を各 フロアに掲示しておりますので、ご参考に閲覧く ださい。

の種類も違うために覚えるのに時間が

をしているので、利用者様の希望でパ

ノ食とご飯食に分かれており、

飲み物

かかり「時間内に間に合うのかな」と

日々のお食事内容や食べる場所、好きな献立や 苦手な物など色々なことを話して頂き、良かった 内容は調理の励みに、ご不満を頂いた点は創意工 夫をして改善に取り組み、皆様により美味しい食 事がお出しできるように、厨房職員ともども頑張 っていきたいと思います!

<管理栄養士 山下咲子>

結果の掲示のお知らせ ト調査



居宅介護支援センターに新しいスタッフが仲間入りしました!

熱意を持って一生懸命仕事に取り組む姿とはウラハラに、お茶目な行動をチラリと見せてくれます。個性的な面々がさらにパワーアップ?それぞれの得意分野を生かしながら、少しでもよい援助ができるよう切磋琢磨していきますので皆様どうぞごひいきに。では、自己紹介をどうぞ!

昨年12月7日より日ノ岡居宅介護支援センターで新人研修を済ませ、1月17日より山科苑でお 仕事をさせていただいております。どうぞよろしくお願いします。

仕事の仲間や職場の仕事の進め方、社会資源…と、全てを新しく切り替えて対応している最中で、 研修の約1ヶ月間でようやく慣れてきたところでしたが、今はふたたび緊張気味です。

今まで介護支援専門員としてお仕事をしていて、印象に残ったことがあります。統合失調症のある利用者様が、妄想と幻覚の中で退院。お医者様の丁寧なご指導の下、連携をとりながら支援させていただき、日に日にお元気になられ、自転車を自ら購入され、当時の私の事業所へ買物途中に寄

られながら嬉しそうにいろいろなご報告をされるようになった事は、各サービス事業所の方々の暖かな支援があればこそと感じます。また、病院の相談員の方との連携や、お医者様の細やかなご指導で、介護支援専門員としてのお仕事ができたのだと感謝せずにはおれませんでした。私の関わったご利用

者様に、今後もこのような支援ができるとうれしいと思っております。

ケアマネジャー 矢野 明美



"思案想論"副施設長より

個別ケアの充実のひとつの手法としてユニットケアが言われてきました。しかし当苑のような15年以上前の施設にあっては設備的には病院モードであり、最近の新型特養のような生活施設を基盤としたユニットケアに適した住環境とは程遠いところにあります。そのような条件の中でいかに利用者一人ひとりのニーズに応えたケアを確立するのか。少人数での馴染みの関係と馴染みの環境はユニットケアの大きな要素であり、その馴染みの人と環境を生活に立脚して集合ケアからフロアケアに転換していこうと日々努力しています。

ケアはそもそも援助を必要とする当の要援護者の置かれる環境と身体状況と意向に即して、最も必要で適切なケアを提供することです。その時に考える主体はまさに要援護者その人ですが、その人に応じた排泄、入浴、食事、アクティビティなどの関わりは個別的でありケアの方法も個別的なものです。しかしその個別ケアを充実すればするほどスタッフはその労力への限界に対する呪縛に陥ります。施設ケアはそのニーズを十分に満たすだけの介護職員の人数と時間と労力にも限界があります。また一方でその人に応じた関わり方をすることが個別ケアの充実ですが、 歴張するケア内容をこなしていくことが個別ケアの主体となってしまい、 当のその人自身が背景に沈んでしまうということです。その結果、その人にとって必要な援助計画が実践の中で硬直化し、援助への意味を見出せずに業務化され、 疲弊してしまうというという個別ケアのもうひとつの呪縛です。

ケアは50人いれば50通りのケアがあるといわれます。しかし、ケアは対象となる利用者とケアする援助者との援助関係の中で成立するもので、援助プロセスが問われます。利用者の個別性に対して援助する側の援助者自身の個別性にももっと目を向ける必要がないでしょうか。その人への援助の方針をいかに達成するかは援助する側の能力や個性、価値観などの特性に応じて援助プロセスが異なってきます。"福祉は人なり"といいますが、その時の"人"は利用者であると同時に援助者でもあります。確かに援助は専門的な援助姿勢を要求しますが、援助する人と援助される人とのよりよい関係の中においてこそ援助は創造されます。その意味で援助技術はテクニック(Technique)やスキル(Skill)でなく、アート(Art)である所以ではないでしょうか。 援助する側、される側、そして環境とのトライアングルの中で日々変化するものとして、個別ケアは利用者と介護者とのケアの数だけのライブ活動であり双方が創造的に深化する実践かと思います。

文・副施設長 岸田 光彦

別ケアについて

う音楽療法 のご紹介 S









音楽療法では、歌をうたったり演奏を聴きながらその 当時の思い出話をしたり、演奏にあわせて体を動かした りといった活動を通してリハビリにつなげています。

音楽療法が行われる際には、一生懸命に取り組まれる 皆さんの真剣な表情や、昔話に盛り上がる楽しそうな笑 顔に出会うことができます。時には普段なかなか声を聞 かせていただくことが難しい方からも、歌声を聞かせて いただけることもあります。実施後は毎回先生方と表情 や取り組みの様子等の振り返りを行ない、リハビリとし ての効果測定も重視しています。各先生方のご協力を得 ながら、音楽療法を通して楽しくリハビリに取り組んで います。

特養/音の風 様 デイサービス/越田 民代 様 松永 裕子 様

楽しい踊りと演奏の一時





山科安来節同好会 樣





ライブスタジオ ごっぱち 様

花嫁修業を思い出し





松井先生には、これまでフロアにて生け花を生けていただいていましたが、利用者の皆さんから、「私も昔みたいに生けてみたい」との声から、生け花クラブがスタートしました。毎回「先生どうでしょう」と積極的に指導を仰がれる方や、「私の流派は…」といった話題で盛り上がっています。

生け花クラブ

ボランティア様 ご紹介

- *沖縄民謡/ライブスタジオごっぱちの皆様
- *安来節/山科安来節同好会の皆様
- *歌声サークル/大西 いつ子 様
- *フロア生け花/松井 智津甫 様
- *馬場 千夏 様 (京都大学作業療法学科学生)
- *3階フロアボランティア/石野 義子様
- *デイサービスボランティア

澤 信子 様、鈴木 啓子 様、谷口 寛貴 様

実習生受け入れ(12月~2月)

- *京都保育福祉専門学院
- *京都福祉専門学校
- *京都女子大学家政学部生活福祉学科

寄贈

- *京都水産協会 様
- *京都青果協会 様

では、それぞれの故た「故郷」という曲

皆様のご芳情に厚くお礼申し上げます。今後とも山科苑へのご理解、ご協力を心よりお願い申し上げます。

親との思い出話や、子 母」という曲では、母 の思い出話で盛り上 ラマで、タイムマシン 時のご苦労話があち と、とたんにその当時 ました。 現実世界では に行ったカラオケや、 用者の皆さんと一緒 されていませんが、利 こいうシー ンがあり 時代に連れて行って 当時の思い出が一瞬 ねた時にタイムマシ す。この先、年を重 まれにくい時代で 後世に残る名曲が生 が、現代はなかなか 過ぎたところです 持っていることに気 くれるステキな力を であふれ出し、その いわれるものには、 せていただきます。 私は現在30歳を このように名曲と